

はじめに

3月1日兵庫県下で初めて新型コロナウイルス感染者が、確認される。

翌日に「**宝塚市議会危機対策支援本部**」を立ち上げる。

その際、「議会をクラスターにしない」

「議会から、議員・職員・市民のかたを感染者にしない」との方針を決めました。

全般的な感染症対策について

- 議員、職員、傍聴者に、検温、アルコールによる手指消毒、マスク着用を含む感染症対策の呼びかけ
- 議場および委員会室のドア、窓を開放し、扇風機で強制換気の実施
- 換気が良好でない議会第一会議室の利用を止める
- 三密を避ける為、議会における市職員の出席も最小限に留める

定例会・委員会運営について

① 予算特別委員会(3月)

- 通常の質疑から文書質疑に変更
- 総括質疑は委員会室を使わず議場で行う
- 傍聴者を入れず、インターネットでライブ中継を行う

② 常任委員会

- 三密を避けるため委員会室で行わず議場で行う(ドア・窓を開放し、扇風機にて、1時間をめどに強制換気のため休憩)
- 議場で行うため、インターネットでライブ中継を行う
- 密を避けるために効率的な運営を行う

③一般質問

- 6月は、4日間に及ぶ一般質問を会派時間制にし2日間に短縮
- 9月は、一人45分上限にし3日間に短縮
- 議場は、ドア・窓を開放し、扇風機にて一時間をめどに休憩し、強制換気を行う
- 三密にならないように、議員の議席も通常の議席と後方に席を設けて半分半分で着席する
- 傍聴席も✕□席を作り間隔を開けて着席してもらおう

④決算特別委員会

- 開催は議場で行う
- 質問は事前通告制をとる
- 説明員の出入りを限定し、待機職員を最小限に留める
- 効率的な委員会運営のため、会派持ち時間制を導入する

この間の議会の議論の中、4月に緊急事態宣言が出され、自粛生活を余儀なくされ、大きな打撃を受けている地域経済、市民生活を支援するため議員全員の**議員報酬**、**政務活動費**、**委員会視察経費**を**減額**し、約3,300万円を新型コロナウイルス対策の基金に！

- 議員報酬6月分を全額返上する。15,439,000円
- 政務活動費半年分を返上する。12,480,000円
- 委員会視察経費を全額返上する。5,447,000円
- 新型コロナウイルス対策に資する基金の創設を決議(6月議会にて創設された新型コロナウイルス対策思いやり応援基金に積まれる)

その他

- 5月と7月に臨時会を開催し、一刻も早く市民の皆様に支援が届くように、新型コロナウイルス対策に関する予算や、条例改正などの議案を慎重かつ迅速に審議し早期の議決に努める。

11月にZOOMにてこれまでの定例会の議会報告会を行う。

(議会基本条例に基づく、定例会ごとの議会報告会の開催を新型コロナウイルス感染症対策の一環で見送る)

最後に

昨日の兵庫県での新型コロナ感染者数は49人で、宝塚市では2人の方の感染が報告されています。兵庫県ではこの1週間の1日平均の感染者数が、30人を超え、33.3人となり、再び警戒レベルが上がり、小康期、警戒期、増加期を、超えて**拡大期1**となりました。これからも油断せず、感染症対策に取り組んでまいります。

市議会では、26人の議員と13人の事務局職員とが一丸となって、今後も市民の皆様や市内業者の皆様の暮らしを支えられるように頑張っております